

Book

本
カタチになるよこびがあるデザイン、建築
インテリアをもっと愉しむために

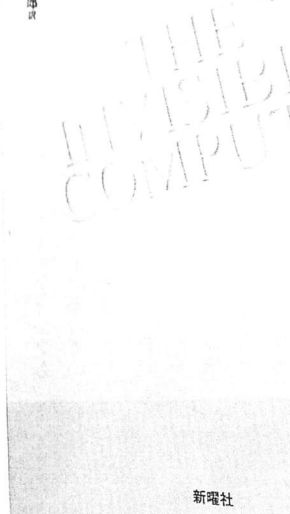
パソコンを隠せ、 アナログ発想でいこう！

複雑さに別れを告げ、
情報アプライアンスへ

D・A・ノーマン

著者：D・A・ノーマン
訳者：明・安村清規・伊賀屋 一郎

D・A・ノーマン著 新曜社 本体価格3300円



●Profile

日本インテリアデザイナー協会理事長などを歴任。2000年度・通産大臣デザイン功労賞を受賞。

「パソコンを隠せ、アナログ発想でいこう！」

コンピュータのエキスパートが
現代のIT事情を斬る

文 長岡貞夫
著者のプロフィール

デジタルデバイスだと言う時代に、本書の題名「パソコンを隠せ、アナログ発想でいこう！」は刺激的である。原題は「The Invisible Computer」である。「誰のためのデザイン？」(新曜社)の著者でも知られるD.A.ノーマンは大学教授からアップル、ヒューレット・パッカード、インターフェイスなどのコンピュータ業界を経て、現在は教育関連企業の経営に携わる認知工学者である。この経歴からしてコンピュータの裏・表を知り尽くしている著者が、副題で「パソコンは複雑すぎる：personal com

puter is so complex」といきる。今日のパソコン業界でハードメーカーはパワーアップ競争、ソフトウェアは速度と容量をがぶ飲みしているため、パソコンはますます機能過多で複雑になり、扱い難いものの道をたどっている」と指摘している。そういうパソコン書店にうず高く積まれたパソコン関連の手引書、解説書、街で目につくパソコン教室の看板などは、その操作が容易でないこととの証であり、これは異常な姿ではないであろうか。21世紀が進むにつれ、否応無しにIT環境がわれわれの日常生活に深く

関わる事が予想される。であるならば情報通信機器はもっと容易に入手できる価格、簡単に操作できるものでないと、もていこなせる人と、こなせない人などデジタル機器が関わるあらゆる場面で、いわゆるデジタルデバイス・格差や二極化などのひずみが懸念される。著者はこのような現状を改善するために「情報アプライアンス」なるキーワードを提唱する。日本語としてややとっつき難いが、「情報アプライアンス」の主要な目標は、今日のコンピュータは複雑で、

学びにくく、使いにくく、保守しにくいなどの壁を打ち破ることと述べている。そのハード、ソフトの具体的なイメージは専門または個別に特化した情報を表示する個人用の小型情報機器などであり、近い将来、操作しにくい汎用性のパソコンに代わり、道具のように使い易い「情報アプライアンス・機器」が人々の生活をサポートするだろうと予言している。その根底にある概念は、技術は人間のためにあり、人間中心(アナログ)の設計思想に基づくユニバーサルデザインでなくてはならないと説く。

「住宅巡礼」 中村好文著 新郷社 本体価格2800円



住宅設計を業とする著者の確かで多様な作品選びの眼力にまず敬服した。それはLe・コルビジエ、F.L.ライト、P.ジョンソン、A.アアルド、M.ボッタ、E.G.アスブルンド、G.T.リートフェルト、L.カーン、20世紀に多くの傑出した作品を残した建築家8人の設計した住宅を現地に赴き、つぶさに、そして隅々まで穴のあくほど凝視し、そこから立ち上る空気を感じ取り、8人の素性やエピソードなどを交えながら、魅力のある名作を散文調で紹介した好著である。著者のイラスト風スケッチが空間のイメージを彷彿させ、本書を読みやすくしている。

IT革命の虚妄 森谷正規著 文春新書 本体価格660円



曰くIT、いわゆるIT革命、毎日メディアを賑わすこの単語は、共存知、Iはinformation(情報)、Tはtechnology(技術)の合成語である。その語感からして機みどろのないモンスターのように輪郭がはっきりしない。著者は技術関連の論評では第一人者である。Tに詳しい著者が解く「IT革命」とは通信技術の飛躍的進歩という現象を表す言葉に過ぎないという。目次を拾ってみると、「ITで何か変わるか」「企業はどれほど変わるか」「生活・社会にとってITとは」「ITは私たちに幸せにするか」などで、通読するとITの全体像が見えてくる。

「エコロジー建築」 エコテスト・マガジン編 青土社 本体価格2200円



エコロジーとは一般に生態学のことをさすが、動植物、海洋などのほかに最近ではエネルギー、物質環境を含んだ広範な地球科学的領域まで発展している。本書は、自然界でも環境問題に最も関心が高いといわれるドイツの読者向け書籍「エコテスト」の翻訳である。題名が示すように建築をエコロジーの視点から検証し、人間にとって健康な住まいとはなにかを問い、建材、内装材、家具、水、熱、エネルギーなどのインフラまで、具体的な例を示しながらわかりやすく解説している。事情は違日本のエコロジーを考える上で水先案内書になるだろう